

◆「見えない学力・見える学力」における

津田小の子どもたちの課題

【見えない学力】

【 3 年】	【 4 年】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 忍耐力、粘り強さ、やり切る力 ・ 共感性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のことを考える力（相手意識） ・ 我慢する力 ・ 自発的に活動する力

【見える学力】

【 3 年】	【 4 年】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力（漢字理解力） ・ 文章読解力 ・ 計算力（四則計算） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読解力 ・ 語彙力 ・ 計算力 ・ 表現する力

◆「ブロック」としての取組をする上で、明確にしておきたいこと

【子どもたちにつけたい見えない学力】

【 3 年】	【 4 年】
<ul style="list-style-type: none"> ・ わからないときには、ペア（グループ）に聞く。 ・ 答えを求めるだけでなく、その過程を説明する活動を取り入れる。 ・ 相手のことを知る活動を通して、共通点や相違点を見つける。 ・ 誰かの意見や考えの良いところ（参考になった、考えが広まった・深まった）を見つけ、発表する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の立場になって、他者の思いを考える。 ・ 課題と向き合い、諦めずに最後まで取り組む。 ・ 指示待ちでなく、自分から発信して活動する。

【子どもたちにつけたい見える学力】

【 3 年】	【 4 年】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の学習の際に、漢字の意味を知る時間をとる。 →漢字理解力・文章読解力 ・ 新出漢字を学習する時に「読む」活動を取り入れる。 →漢字理解力・文章読解力 ・ ペアで本の読み聞かせを行う。 →文章読解力 ・ たくさんの問題に触れる。 →計算力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読みきかせ、読書を通して文章に触れる機会を増やす。 ・ 基礎学力定着をめざして、算数の時間の始めに計算問題を解く。新出漢字を早めに終わらせ、復習の回数を増やす。 ・ 話し合いや班活動を充実させ、自分の考えを自分の言葉で表現する機会を設ける。

【個別最適な学びの充実に向けた取組】 ⇒ すべての児童に対して

- ① 指導の個別化・学習の個性化の取組
 - ・課題に向き合う時に、個々にあった学習方法（形態・ツール）を選択できるようにする。
 - ・いくつかのレベルに合わせたヒントを用意する。
- ②支援教育の観点に向けた取組
 - ・支援学級担任と密に連携を行う。
 - ・活動の見通しが持てるように提示する。
 - ・支援担とともに教材研究を行い、個に応じた教材を用意する。

【協働的な学びの充実に向けた取組】 ⇒ すべての児童に対して

- ① 協働的に取り組む学習活動
 - ・ペア、グループでの活動を多く取り入れた授業展開を考える。
 - ・答えを求めるだけでなく、その過程を説明する活動を取り入れる。
- ②人権教育の観点に基づいた取組 ⇒ 日々の学習活動を通して
 - ・相手を思いやった言葉遣いや態度の育成を行う。
 - ・聴く力をつけるため、オープンクエスチョンを身につける。
 - ・性教育を通して、自分と相手の体や心には違いがあることに気づき、その違いを受け入れる態度を養う。

***人権教育**

【 3 年】	単元名（ 手や ゆびで はなそう ）
【 4 年】	単元名（ 好きなことはいろいろ ）

◆R06 校内研テーマ

仲間とつながる授業づくり～きょうどう学習を通して～

【 3 年】	【 4 年】
・授業の導入で「やってみたい」と思う教材・教具を取り入れる。 ・授業の中で、ペア活動・班活動・チーム活動・教え合い活動をして、協働的な学びを取り入れる。	授業を中心に互いの意見を話し合う活動や、ペア学習、班学習を通して「できた」を感じ取れる活動に取り組む

【SDGsの取組】 ※テーマを決め、年間を通してやり切りましょう！（「やり切る」が大事！）

テーマ： 自分たちでできる環境を守る取り組みを考え、実行しよう！

【道徳教育のあり方】

【 3 年】	【 4 年】
内容項目について児童に揺さぶりをかける発問を行い、日常生活に生かせる道徳的価値を身につける。	道徳の時間と日常生活を結びつけ、日常生活の中で場面に応じてその価値を振り返るようにする。